

警視庁・東京消防庁と連携した丸の内エリアでの大規模訓練を継続

第99回「ひと×まち防災訓練」を実施

～今年は閉館ビルを活用した救出救助訓練など 実効性を強化～

三菱地所株式会社は、本日2025年9月1日早朝より、東京・丸の内エリアを中心に三菱地所グループ社員約2,000名および関係先が参加する総合防災訓練を実施しました。

警視庁・東京消防庁と連携のうえオフィス街を交通規制し、就業者や来街者にも参加いただき、大規模な訓練を行いました。丸の内二重橋ビルでは地震による火事発生を想定したビルの大規模消防訓練、解体工事現場（国際ビル）では地震発生後、ビル内に多数の要救助者がいることを想定した救出救助訓練など、まちを活用し実効性を高めた内容となりました。また、消火器・消火栓訓練や煙体験ハウス、VR防災体験車は、丸の内エリアの就業者や来街者にも参加いただきました。

三菱地所の災害対策の歴史は古く、当社の前身である三菱合資会社地所部が1923年（大正12年）の関東大震災時に、旧丸ビルやその周辺で飲料水の提供や炊き出し、臨時診療所の開設などを行ったことに端を発しています。震災直後から、官庁、銀行・会社、商店など、400以上が丸の内に移転し、都心の政治・経済活動の中核機能が臨時に集中しました。震災を免れた丸の内は、東京が復興するまでの間、さまざまな面で人々の暮らしに寄与しました。防災拠点として機能した過去の歴史は、今も三菱地所グループの防災スピリットに受け継がれています。

三菱地所は本年5月に「まちまるごとワークプレイス」構想を掲げておりますが、まち単位での官民の連携や就業者・来街者の訓練参加などを通じ、高い防災意識・防災機能による、ビジネスの持続性あるまちづくりを目指しています。今後も、警視庁や東京消防庁、エリア内企業の皆様の協力のもと、非常時にも十分な体制が構築できる安全・安心なまちづくりを引き続き進めてまいります。



▲放水訓練（丸の内二重橋ビル）



▲警視庁機動隊による救出救助訓練（国際ビル）

■第99回「ひと×まち防災訓練」の実施概要

日時：2025年9月1日（月）7:15～17:00

場所：丸の内二重橋ビル、国際ビル、丸ビル、大手町フィナンシャルシティ サウスタワー、
大手町パークビル、行幸通り ほか



【訓練内容】※震度7の地震および同等クラスの余震の発生を想定。

＜丸の内二重橋ビルにおける訓練＞

丸の内二重橋ビルにおいて、地震による火災発生を想定した大規模消防訓練を実施しました。

・はしご車を利用した救出救助訓練

逃げ遅れた要救助者を7階屋上からはしご車で救出する訓練を実施しました。



・屋上からの懸垂降下による緊急脱出訓練

要救助者を救出後、余震発生により、丸の内二重橋ビル7階屋上から丸の内仲通りに降ろしたロープを使って救助隊が緊急脱出する訓練を行いました。



- **避難、応急処置の訓練**

ビルの就業者にも参加いただき、ビルの外へ避難し、災害時支援ボランティアにて応急処置をする訓練を実施しました。



- **放水訓練**

救出救助訓練後、放水訓練を実施しました。

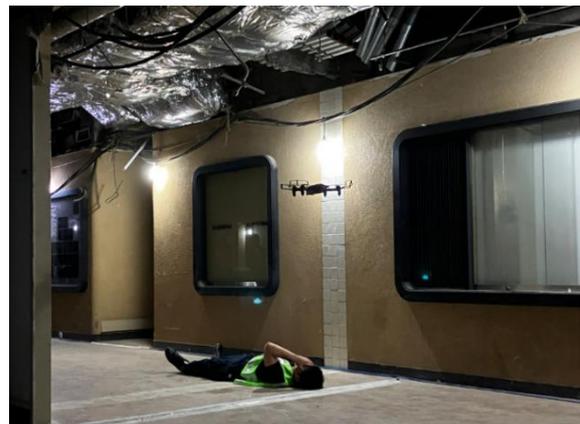
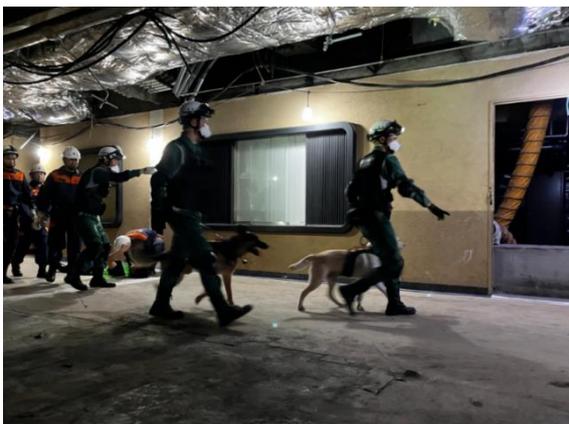


<国際ビルにおける訓練>

地震発生後、損壊したビル内に多数の要救助者がいることを想定した訓練を実施しました。

- **警視庁警備犬・ドローン活用によるビル内の捜索訓練、警視庁機動隊による救出救助訓練**

地震による負傷者を、警視庁機動救助隊と警視庁機動隊が警視庁警備犬やドローンを使って捜索、救出救助する訓練を実施しました。





- 車両内閉じ込めの救出救助訓練

ビルの車寄せにて車の中に人が閉じ込められた状況を想定し、警視庁機動救助隊が車のドアを切断して救出するという訓練を実施しました。(車両提供：三菱自動車工業株式会社)



- トリアージ訓練

救出された人に対し、東京科学大学 DMAT（災害派遣医療チーム）と協力しトリアージ訓練を実施しました。



- 消防による室内に閉じ込められた要救助者の救出救助訓練

部屋の中に閉じ込められた要救助者に対し、入口扉をエンジンカッターで破壊して救出救助する訓練を行いました。



• ビル内にいる多数の要救助者の搬送訓練

三菱地所社員がビル内に取り残された要救助者を捜索し、担架などを使って救出救助する訓練を行いました。



• 屋上からの懸垂降下による救出救助訓練

国際ビル屋上からロープを使って要救助者を救出する訓練を行いました。



<その他の訓練>



▲消火器訓練（過去実施時のイメージ）



▲消火栓訓練（過去実施時のイメージ）



▲煙ハウス体験（過去実施時のイメージ）



▲VR 防災車体験（過去実施時のイメージ）

<挨拶・講評>

登壇者（左から）

：三菱地所プロパティマネジメント株式会社 取締役社長 久保 人司
丸の内警察署長 長谷川 博省 氏
三菱地所株式会社 執行役社長 中島 篤
丸の内消防署長 大高 浩 氏
丸の内消防団長 千葉 太 氏



■丸の内エリアの防災の取り組み

三菱地所グループでは、災害を含むあらゆる危機管理における基本方針・行動指針に加え、緊急事態発生時の行動内容等を定めた「緊急事態対応マニュアル」を策定しています。災害が発生した際の対策として、災害から人命と関連施設を守り、適切かつ迅速な復旧施策を実行するため、独自の「災害対応マニュアル」を策定し、平常時からの予防措置、任務分担、訓練計画、災害発生時の応急措置計画、復旧対策など、広範できめ細かな対策を定めています。大規模災害発生時または恐れがある場合に、「非常災害体制」を発令、災害対策本部を立ち上げるとともに、行政・警察・消防やゼネコン・サブコン、千代田区医師会や聖路加メディローカスと連携し、帰宅困難者対応や負傷者対応、建物応急危険度判定を実施します。

また、三菱地所は 2012 年に帰宅困難者収容施設に関する協定を千代田区と締結（丸の内エリアの 14 棟）しています。

【参考】関連リリース

第 97 回「ひと×まち防災訓練」を実施（2023 年 9 月 4 日）

URL：https://www.mec.co.jp/news/mec230904_bosai/mec230904_bosai.pdf

千代田区と災害時の DX 連携協定を締結し、「災害ダッシュボード」を社会実装（2024 年 2 月 7 日）

URL：https://www.mec.co.jp/news/detail/2024/02/07_mec240207_saigaidb

千代田区と被災者受け入れに関する協定締結（2012 年 8 月 27 日）

URL：<https://www.mec.co.jp/news/archives/mec120827.pdf>

千代田区医師会・三菱地所・東京駅周辺防災隣組が協力（2013 年 9 月 6 日）

URL：https://www.mec.co.jp/news/archives/mec130906_ishikai.pdf

以 上